

33

# ベル製造のノウハウを活かし、 新分野での新商品開発に挑戦する



## 株式会社東京ベル製作所

TEL.03-3893-5741 FAX.03-3800-5081

URL <http://www.tokyobell.co.jp/>



市村 晃一  
代表取締役

代表者：代表取締役 市村 晃一

所在地：〒116-0011 荒川区西尾久4-8-4

資本金：4,650万円

従業員：27人

創業年：昭和24年

業種：金属製品製造業

事業内容：自転車用ベル、ダイカスト鋳造、  
ディスプレイ製品

### 自転車ベルのリーディングカンパニー

創業は昭和24年。業界を代表するベルメーカーであり、当社の「TB」ブランドは自転車用ベルの国内シェア60%を占める。年平均120万個を製造するトップメーカーの地位にあるが、20年以上前から製品輸出に乗り出し、海外においても知名度が高い。年平均50万個を輸出し、技術供与も行うなど、自転車部品のグローバル化の一翼を担っている。

また、未来を見据え、積極的な経営展開を進めており、MACCプロジェクト主催セミナーやあすめし会へ参加することで知識の向上やネットワーク構築を図るほか、経営革新にも取り組んでいる。

あすめし会メンバーであり平成23年11月に社長に就任した市村晃一氏は、あすめし会で得たものを活かし、更に積極的な経営に取り組んでいくと語る。



自転車ベル  
チビ丸フリーハンド（左上）  
チビ丸PROとチビ丸POP（左下）  
クリスタルベル（右上）

### 自転車用ベルだけの会社ではありません

25年以上前から業種転換を図っており、成熟化した自転車産業以外の新たな事業分野の開拓に意欲的に取り組んでいる。その中で、スーパーや小売店舗の店づくりを演出するディスプレイ製品は今や経営の大きな柱に育っている。

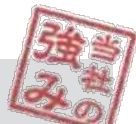
また、開発会議にて提案・開発された「熊避けベル 森の鈴」は、本体を上下に引くことで簡単に音をon/offできる機能を付加し、登山への移動中などにベルがうるさいという登山者の悩みを解決した。同製品は、



熊避けベル 森の鈴  
消音機能付き風鈴

当社として初の登山用品の開発であったが、機能性の高さに加え、積極的な売り込みによる販路開拓が功を奏し、順調な売り上げを記録している。

### 話の通る真面目な町工場



製品開発力・デザイン力に優れていることが当社の強みの1つである。この強みは、従業員だけでなくデザイナーを交えての開発会議を月に2回実施していることから生まれており、当社で開発された自転車用ベルのデザイン性は海外でも高く評価され輸出を拡大している。特に人気なのが、世界最小の小さなボディから大きく澄んだ音を出す「チビ丸」シリーズや、グッドデザイン賞を受賞し、ニューヨークの近代美術館のショップでも販売されている「クリスタル・ベル」である。



本社外観

また、小ロットから大ロットまで対応できることも強みである。希望があれば、1個からでも製造を行っており、世界に1つの自転車用ベルを製造することや、ノベルティーとして製造することも可能である。

長年に渡り自転車用ベルに注力してきた実力に加え、短納期、コスト、品質にも対応してきたことで顧客からの信頼が厚く、安定した受注を実現している。

#### ◎主な保有設備

- ・プレス機 (5t～60t) 14台
- ・シャーリング 1台
- ・ベンダー 1台
- ・ボール盤 3台
- ・パイプベンダー 1台
- ・溶接機 3台
- ・バーベンダー 1台
- ・卓上グラインダー 3台

#### ◎主な認証・実績等

- ・通産省選定 グッドデザイン中小企業商品賞受賞
- ・大阪デザインセンター選定 グッドデザイン商品
- ・ブリジストンサイクル、パナソニックサイクルテックへの納品
- ・第9回TASKものづくり大賞奨励賞受賞
- ・第12回TASKものづくり大賞優秀賞受賞
- ・第13回TASKものづくり大賞奨励賞受賞